

様式第2号の1-② 関連資料 柔道整復師科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

平成31年度(令和元年度)柔道整復師科

| 科目名 | 担当教員 | 配当学年 | 講義形式 | 単位時間 | 単位 | 担当教員のおもな実務経験の内容 | 実務経験を生かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照のこと) |
|-----------|-------|------|------|------|----|----------------------------------|--|
| 解剖学 I | 利根 竜兵 | 1 | 講義 | 30 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、プロスポーツチームでのトレーナー活動 | スポーツトレーナーとしての指導経験のある教員が筋骨格器系の構造や機能について講義する。 |
| 柔道 I | 芝 明朗 | 1 | 実技 | 30 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務 | 柔道整復師として必要な素養、礼儀、礼法について柔道実技(受け身)を交えて指導する。 |
| 基礎柔整学 I | 佐藤 洋平 | 1 | 講義 | 30 | 2 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、整形外科医院勤務、鍼灸訪問施術 | 柔道整復師の歴史や倫理綱領、業務範囲と共に骨折の基礎知識や痛みについての基礎知識を講義する。 |
| 基礎柔整学 II | 芝 明朗 | 1 | 講義 | 30 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務 | 骨折・脱臼・捻挫などの運動器の外傷における解剖学的構造について講義する。 |
| 基礎柔整学 III | 赤堀 真紀 | 1 | 講義 | 30 | 2 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、整形外科医院勤務 | 臨床現場で行われている柔道整復術とはなにかについて講義する。 |
| 基礎柔整学 IV | 利根 竜兵 | 1 | 講義 | 30 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、プロスポーツチームでのトレーナー活動 | 骨折について(総論、整復法、固定法)を講義する。 |
| 基礎柔整学 V | 青木 圭輔 | 1 | 講義 | 30 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、スポーツトレーナー活動 | 脱臼について(軟部組織損傷を含む)整復法や初期処置の方法について講義する。 |
| 臨床柔整学 I | 赤堀 真紀 | 1 | 講義 | 30 | 2 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、整形外科医院勤務 | 上肢の骨折・脱臼・軟部組織損傷について講義する。 |

様式第2号の1-② 関連資料 柔道整復師科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

平成31年度(令和元年度)柔道整復師科

| 科目名 | 担当教員 | 配当学年 | 講義形式 | 単位時間 | 単位 | 担当教員のおもな実務経験の内容 | 実務経験を生かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照のこと) |
|-------------|----------|------|------|------|----|-----------------------------------|--|
| 臨床柔整学Ⅱ | 佐藤 洋平 | 1 | 講義 | 30 | 2 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、 整形外科医院勤務、鍼灸訪問施術 | 体幹部および下肢の外傷について講義する。 |
| 基礎実技Ⅰ | 小橋 俊秀 | 1 | 実技 | 40 | 1 | 施術所開業、接骨院勤務 | 基本包帯の巻き方、包帯固定の目的・範囲及び冠名 包帯法を指導する。 |
| 基礎実技Ⅱ | 青木 圭輔 | 1 | 実技 | 40 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 スポーツトレーナー活動 | スポーツ外傷として多い足関節・膝関節のテーピング 技法を中心に技術指導する。 |
| 基礎実技Ⅲ | 鳥海 剛史 | 1 | 実技 | 40 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 上肢、下肢の筋の起始停止・働きを理解しテーピング の基礎を指導する。 |
| 基礎実技Ⅳ | 小橋 俊秀 | 1 | 実技 | 40 | 1 | 施術所開業、接骨院勤務 | 副子(クラーメル)を用いた固定法を学び実践できる ように指導する。 |
| 基礎柔整実技Ⅰ | 鳥海 剛史 | 1 | 実技 | 40 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 運動器の触診技術およびROM、MMTの測定技術の向上 を目指し実践(体験)させる。 |
| 統合教育Ⅰ | オムニバス教員※ | 1 | 演習 | 180 | 6 | | すべて実務経験担当者によるオムニバス授業形式で 実施される。 |
| 合計時間数および単位数 | | | | 650 | 28 | | |

様式第2号の1-② 関連資料 柔道整復師科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

平成31年度(令和元年度)柔道整復師科

| 科目名 | 担当教員 | 配当学年 | 講義形式 | 単位時間 | 単位 | 担当教員のおもな実務経験の内容 | 実務経験を生かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照のこと) |
|--------|-----------------|------|------|------|----|-----------------------------------|---|
| 運動学 | 渡辺 義隆 | 2 | 講義 | 30 | 2 | 歯科医師、歯科医院勤務、 歯科大学病院勤務 | 身体運動の力学的バイオメカニクスについて講義する。 |
| 一般臨床医学 | 小原 健 | 2 | 講義 | 30 | 2 | 医師、診療所開業、病院勤務 | 内科学における診察・診療とその方法について講義する。 |
| 外科学概論 | 大和 宣介 | 2 | 講義 | 30 | 2 | 医師、診療所開業、病院勤務 | 外科学における診察・診療とその方法および適応疾患について講義する。 |
| 整形外科学 | 大和 宣介 | 2 | 講義 | 30 | 2 | 医師、診療所開業、病院勤務 | 整形外科学における診察・診療とその方法および適応疾患について講義する。 |
| 柔道Ⅱ | 芝 明朗 | 2 | 実技 | 30 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務 | 柔道整復師として必要な素養、礼儀、礼法を併せて柔道実技の形と技(投技、寝技、投の形、乱取り)を交えて指導する。 |
| 社会保障制度 | 小橋 俊秀 | 2 | 講義 | 30 | 1 | 施術所開業、接骨院勤務 | 我が国の社会保障制度や柔道整復療養費の支給申請のあらましについて講義する。 |
| 臨床柔整学Ⅲ | 山下 昌一 | 2 | 講義 | 30 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 臨床経験を活用した上肢の外傷(おもに手指部の外傷)について講義する。 |
| 臨床柔整学Ⅳ | 佐藤 洋平 | 2 | 講義 | 30 | 2 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、 整形外科医院勤務、鍼灸訪問施術 | 臨床経験を活用した下肢の外傷を理解しその病態と処置方法を講義する。 |
| 臨床柔整学Ⅴ | 山崎 由紀也 赤堀 真紀 | 2 | 講義 | 30 | 2 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、 整形外科医院勤務 | 膝関節から足趾部の骨折、脱臼、軟部組織損傷の発生機序、症状、合併症等を講義する。 |
| 臨床柔整学Ⅵ | 鳥海 剛史 | 2 | 講義 | 30 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 臨床経験を活用した頭部・体幹・脊柱の外傷を講義する。 |

様式第2号の1-② 関連資料 柔道整復師科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

平成31年度(令和元年度)柔道整復師科

| 科目名 | 担当教員 | 配当学年 | 講義形式 | 単位時間 | 単位 | 担当教員のおもな実務経験の内容 | 実務経験を生かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照のこと) |
|-------------|----------|------|------|------|----|-----------------------------------|---|
| 基礎柔整実技Ⅱ | 青木 圭輔 | 2 | 実技 | 40 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 スポーツトレーナー活動 | 上肢の外傷の処置（整復・固定）を中心に実技指導する。 |
| 基礎柔整実技Ⅲ | 小川 航一 | 2 | 実技 | 40 | 1 | 施術所開業、接骨院勤務 | 下肢の外傷の処置（整復・固定）を中心に実技指導する。 |
| 基礎柔整実技Ⅳ | 佐藤 洋平 | 2 | 実技 | 40 | 1 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、 整形外科医院勤務、鍼灸訪問施術 | 診察における整形外科的徒手検査法について理解した上で実践的な実技を指導する。 |
| 画像評価実技Ⅰ | 小野 博道 | 2 | 実技 | 40 | 1 | 施術所開業、接骨院勤務、病院勤務 | おもに超音波画像観察装置を中心にその使用方法を学ぶ実技。 |
| 画像評価実技Ⅱ | 鳥海 剛史 | 2 | 実技 | 40 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 整形外科的画像診断（単純X-Ray、CT、MRIなど）について実技指導する。 |
| 総合実技Ⅰ | 小橋 俊秀 | 2 | 実技 | 40 | 1 | 施術所開業、接骨院勤務 | 上肢の外傷に関する一連の処置ができるように指導する。 |
| 総合実技Ⅱ | 芝 明朗 | 2 | 実技 | 40 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務 | 体幹および下肢の外傷に関する一連の処置ができるように指導する。 |
| 臨床実習Ⅰ | オムニバス教員※ | 2 | 実習 | 45 | 1 | | 臨床現場において実務経験のある担当者が直接学生を指導する。（医療面接、診察・診療など） |
| 臨床実習Ⅱ | オムニバス教員※ | 2 | 実習 | 45 | 1 | | 臨床現場において実務経験のある担当者が直接学生を指導する。（医療面接、診察・診療など） |
| 統合教育Ⅱ | オムニバス教員※ | 2 | 演習 | 150 | 5 | | すべて実務経験担当者によるオムニバス授業形式で実施される。 |
| 合計時間数および単位数 | | | | 820 | 32 | | |

様式第2号の1-② 関連資料 柔道整復師科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

平成31年度(令和元年度)柔道整復師科

| 科目名 | 担当教員 | 配当学年 | 講義形式 | 単位時間 | 単位 | 担当教員のおもな実務経験の内容 | 実務経験を生かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照のこと) |
|-------------|----------------|------|------|------|----|---|--|
| 運動学 | 渡辺 義隆 | 3 | 講義 | 15 | 1 | 歯科医師、歯科医院勤務、 歯科大学病院勤務 | 身体運動の力学的バイオメカニクスについて講義する。 |
| 一般臨床医学Ⅱ | 小原 健 | 3 | 講義 | 30 | 2 | 医師、診療所開業、病院勤務 | 具体的な内科疾患における診察・診療とその方法について講義する。 |
| 整形外科学 | 小粥 博樹 | 3 | 講義 | 30 | 2 | 医師、病院勤務 | 整形外科学における診察・診療とその方法および適応疾患について講義する。 |
| リハビリテーション医学 | 岡村 安優 | 3 | 講義 | 30 | 2 | 理学療法士、病院勤務、 診療所リハビリテーション科勤務 | 臨床経験を活用し運動器疾患のリハビリテーションに必要な知識を中心に講義する。 |
| 関係法規 | 小野 博道 | 3 | 講義 | 15 | 1 | 施術所開業、接骨院勤務、病院勤務 | 柔道整復師法や医療関係法令を学習する。法令順守の意味を理解し考察する。 |
| 柔道整復理論Ⅴ | 赤池 誠司 | 3 | 講義 | 15 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 柔道整復理論について復習を中心に講義する。 |
| 臨床柔道整復学Ⅵ | 赤堀 真紀 | 3 | 講義 | 30 | 2 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、 整形外科医院勤務 | 運動器の外傷理解に必要な脈管系、神経系、体表解剖について講義する。 |
| 臨床柔道整復学Ⅶ | 佐藤 洋平 | 3 | 講義 | 30 | 2 | 付属施術所勤務、接骨院勤務、 整形外科医院勤務、鍼灸訪問施術 | 柔道整復学の各論について臨床経験を踏まえた講義する。 |
| 柔道整復実技Ⅵ | 青木 圭輔 利根 竜兵 | 3 | 実技 | 60 | 2 | ①接骨院勤務、付属施術所勤務、 スポーツトレーナー活動 ②接骨院勤務、付属施術所勤務、プロ スポーツチームでのトレーナー活動 | 日常臨床で遭遇する骨折・脱臼における診察・評価 手技、整復手技、固定手技について実技指導する。 |
| 柔道整復実技Ⅶ | 小野 博道 | 3 | 実技 | 60 | 2 | 施術所開業、接骨院勤務、病院勤務 | 日常臨床で遭遇する軟部組織損傷における診察・評価 (徒手検査)手技、固定手技について実技指導する。 |

様式第2号の1-② 関連資料 柔道整復師科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

平成31年度(令和元年度)柔道整復師科

| 科目名 | 担当教員 | 配当学年 | 講義形式 | 単位時間 | 単位 | 担当教員のおもな実務経験の内容 | 実務経験を生かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照のこと) |
|-------------|----------------|------|------|------|----|---|--|
| 柔道整復実技Ⅷ | 赤池 誠司 | 3 | 実技 | 60 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 日常臨床で遭遇する骨折・脱臼・軟部組織損傷における診察・評価(検査)手技、整復手技、固定手技について実技指導する。 |
| 応用柔道整復演習Ⅲ | 山下 昌一 | 3 | 演習 | 60 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 柔道整復学の基礎となる生理学について演習形式での講義を行う。 |
| 総合演習Ⅰ | 山下 昌一 | 3 | 演習 | 60 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 柔道整復学の基礎となる生理学について演習形式での講義を行う。 |
| 総合演習Ⅱ | 渡辺 義隆 青木 圭輔 | 3 | 演習 | 60 | 2 | ①歯科医師、歯科医院勤務、 歯科大学病院勤務 ②接骨院勤務、付属施術所勤務、 スポーツトレーナー活動 | ①柔道整復術に必要な運動器の機能解剖学について演習形式で講義する。②柔道整復学の総論について演習形式での講義を実施する。 |
| 総合演習Ⅲ | オムニバス教員※ | 3 | 演習 | 60 | 2 | | 柔道整復術に必要な基礎医学科目および臨床医学科目について演習形式で実施する。 |
| 総合演習Ⅳ | 赤池 誠司 | 3 | 演習 | 60 | 2 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 整形外科医院勤務 | 柔道整復学の各論について演習形式での講義を実施する。 |
| 総合演習Ⅴ | 利根 竜兵 | 3 | 演習 | 30 | 1 | 接骨院勤務、付属施術所勤務、 プロスポーツチームでのトレーナー活動 | 柔道整復術に必要な基礎医学科目について演習形式での講義を実施する。 |
| 臨床実習 | 小野 博道 | 3 | 実習 | 45 | 1 | 施術所開業、接骨院勤務、病院勤務 | 診察診療における基本的な流れを理解し、患者応対、医療面接、施術の適否判断、施術録の記載ができるように助言指導する。併せて柔道整復療養費の請求事務についても実習する。 |
| 総合領域 | オムニバス教員※ | 3 | 演習 | 60 | 4 | | すべて実務経験担当者によるオムニバス授業形式で実施される。 |
| 合計時間数および単位数 | | | | 810 | 35 | | |

※オムニバス教員による授業については、すべて実務経験のある教員等が担当する。その評価等の成績管理については学科長が総括責任者として行う。

※とくに臨床実習については学外で実施されることがある。この場合には学外の臨床実習指導者が担当する。